

イトヨ便り

【発行】大槌町地域支援員配置事業
〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町1-6
TEL: 0193-41-2780
E-Mail: otsch.info@gmail.com

あの人にインタビュー

人生で大事なことがいっぱいある サッカーを通してそれを伝えたい

今年の4月から大槌中学校サッカー部のコーチをしている小川啓示さん、大槌高等学校サッカー部のコーチをしている千葉広樹さん。2人は、高校時代同じサッカー部で青春を共に過ごしました。大学卒業後に地元大槌町に戻り指導を行っています。今回、その2人にインタビューしました。

Q コーチになろうと思ったきっかけは？

小川 自分は、中学生の時に県大会で優勝して、その時から、いつかは大槌に戻って指導したいなって思ってた。震災があつてやっぱり子供たちのために！指導したい！という思いが強くて地元に戻ってきた。

千葉 自分自身の夢は、チームが1つになって勝つことだったけど、果たせなかったんだよね。だから、子供たちにはその夢を叶えてほしいなって思ってた。

Q 指導していて嬉しいことや苦勞していることは？

小川 試合に勝った時に一緒に喜ぶところ。勝つだけじゃなく生徒たちが1日1日成長して

大高コーチ 千葉 広樹さん(左)
大中コーチ 小川 啓示さん(右)



いる姿を見て自分も嬉しくなりませぬ。苦勞していることは、自分の考えとかをどのように生徒に響かせるかが1番難しくて：自分は中学生の時、東北大会で負けて悔しい思いをしたんだよね。「もっとあんなふうになつておけば良かった」とか思うことがあるから、生徒たちには自分みたいに後悔して

ほしくない：表現の仕方が難しいね。でも、そこが指導の楽しさでもあると思うけど。
千葉 大槌高校のサッカー部の一員だつて思えた時。指導者目線じゃなくて生徒達の目線で一緒にプレーして、一緒に泣いて、一緒に喜びを感じた時は嬉しく感じる。苦勞していることは、自分の考えが上手く伝わらないこ

小槌第7仮設団地

8月8日、小槌第7の仮設団地で「ビケン福幸キヤラバン、スペシャルコンサート」が開催されました。



(左)岩本三千代さん(右)通天交響楽団の素敵な歌声～♪

このイベントのため、大阪のオフィシャルバンド「通天交響楽団」の皆さんとそのメンバーの2代目ビリケンさん、通天閣ロボが元氣と希望、ラッキーを届けに大阪から来てくれました。ゲストとして、大阪出身の歌手でイラストレーターとして活躍している岩本三千代さん。



大阪からビリケンさん！ ラッキーを届けにきたで〜！

宝くじを足の裏にくっつけて金運アップをお願いする方がいたり。「あははは」と皆で大笑い(笑)その後は、岩本さんと通天交響楽団が3曲ずつ歌を聴かせてくれました。「いい

たいです」と笑顔でいっぱいでした。
岩本さんと通天交響楽団の方は「大槌町の皆さんは、笑顔が素敵で明るい方ばかりですね。復興にはまだまだ時間がか

足の裏をなでるとご利益があるとされているビリケンさんが登場すると、皆さん「わあー!!」という歓声と笑顔。列を作って住民さん一人ひとりがビリケンさんの足の裏を触りました。なかには、財布や曲だあ「声がすてき」と住民さんもうつとり。合いの手をつたり、一緒に歌ったり、最後は大きな拍手が談話室内に響きました。
参加した住民さんは、「まさかこの団地にきてくれると



(左)通天閣ロボ！子供たちの人気者～！
(上)宝くじ当たりますように(笑)

かると思うので、これからも継続的に繋がっていききたいです」と言ってくれました。
きつとビリケンさんが幸運を運んでくれることでしょう。



小槌東地区 くりむら さつき ちゃん

フラフープガール♪

普段は違う地区に住んでいますが、おばあちゃんの家によく遊びに来ている小学1年生のさつきちゃん！笑顔が可愛くて元気いっぱい女の子♪フラフープがとっても上手で、いいよと言うまで回すことが出来るちゃいます！Myフラフープを持っているほどフラフープがだ〜いすき(´▽`)



と。何度も注意しているのに同じこと繰り返す生徒もいるし：上手く伝えられない自分が悔しいものもあるし、悪いのかなと思う。
Q 指導者としてこんなチームにした！というのを教えてください。
小川 勝つ喜びだけじゃなくて、一人ひとり、サッカーが上手くなって、喜ぶようなチームを作りたい。勝つ喜びのは当たり前だし。だけど、自分が上手くなってそれが勝つことに繋がる喜びをもっと感じられるようなチームにしたい。
千葉 サッカー選手とかじゃなくて1人の人間として1人前にしてから社会に出してあげたい。コミュニケーション能力、協調性、社会のマナーが身に付いているチームにしたい。それが試合に勝つことにも繋がると思う。あと、大槌人なんて大槌人らしく(笑)